



# まーぶる通信

2010年5月5日

発行者 福富 恵美子 / 編集者 高田 一範

〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町 39 番地 TEL (075) 874-5639 FAX (075) 874-5640

E-mail : marble.2009@room.ocn.ne.jp ホームページ : <http://www2.ocn.ne.jp/~marble09/>



## まーぶる本格始動！！

ご報告が遅くなりましたが、平成22年2月15日に京都府と京都市の認可があり、居宅支援・移動支援ともに本格始動しました。4月から採用の新人職員含め、まーぶる一同フル稼働でサービスを提供させていただいております。

簡単に今回のまーぶる通信の紹介をサクッと！2ページ3ページは新人職員紹介のページですので、ご覧になられたあとに「見たでえ〜」などと声をかけてあげてください。彼らも励みになると思います！！

っとプレッシャーをかけてみたり（^o^）

4ページは利用させていただいている西垣さんのお母さんに原稿を依頼し、まーぶるへの思いなどを書いていただいております。

今後、まーぶるのスタッフ一同、障がいと共にある方の支援を充実させていけるようがんばっていきたいと思いますので、なにかありましたらドシドシ言ってください。可能な限りよりよいサービスが提供できるよう努力していく所存です。

## ホームページ完成！

情報発信のひとつとしてホームページを作成しました。まだ若いページですので、今後も更新がんばっていきたいと思います！

ホームページアドレス

<http://www2.ocn.ne.jp/~marble09/>





### From：立林 由加里

4月よりまーふるでお世話になります、立林です。  
 新しい事務所で新しい方々と出会う事を楽しんでいる毎日です。  
 お泊りをされた利用者さんのご家族が迎えに来られた時に「昨夜はゆっくり眠れました！」と笑顔で話されたのを聞いて、一番大切にしないといけないのは当たり前の生活をするために当たり前に支え合うという気づきだと思いました。  
 時間と業務に追われていた今までのヘルパー活動を思い返し、人の生活そのものに寄り添う意味を改めて感じています。  
 若くはありませんが・・・よろしくお願いします。



### From：松山 尚樹

21年前、当時高校生になったばかりの私は京都ボランティア協会でボランティア登録をし知的障害者の外出やキャンプでの介助をしていました。そして、18年前に京都ボランティア協会の紹介によりみふ身体障害者福祉会館の「デイケアふきのとう」で重度障がい者介護を初めて経験しました。以後、高齢者の療養病棟や介護老人保健施設、老人福祉施設で働きながら、「ふきのとう」でのボランティアを続け、2004年から重度障がい者や難病患者のホームヘルパーとして活動し、昨年 NPO 法人まーふるの立ち上げに際し福富理事長より声を掛けていただき今に至ります。まだまだ至らないところはありますが、皆さんと一緒に勉強し「皆が幸せに生きていける社会」を目指して活動できればいいなあ。と思います。  
 よろしくをお願いします。



### From：石田 祐貴

4月から職員として働くことになりました。石田祐貴です。  
 小学4年生から大学1回生までずっと野球をしており、大学に入るまで福祉について勉強したり、現場を見たりしたことはほとんどありませんでした。しかし、ふとしたきっかけで福祉の勉強をする大学に進むことにしました。大学では、障がいのある子ども達と過ごすサークルに入っていました。そこでは、講義を受けているだけでは学ぶことができない多くのことを学ぶことができました。中でも人との関わりということについて考え成長することができたと感じています。この経験を生かし頑張っていきますので、よろしくお願いします。



### From：浦上 直輝

はじめまして。4月からまーふるで職員としてお世話になることになりました浦上直輝です。学生時代は高齢者介護の勉強をしており、卒業後は高齢者施設に就職するところでした。しかし福富先生に「うちで働きませんか。」とものすごく落ち着いたトーンで声をかけていただき、今まーふるにいます。福祉の現場で働きだして間もなく右も左もわからない状態ですが、より良い支援を目指して日々精進していきますのでご指導よろしくお願いします。



## まーぶるさんで

西垣朋昌 母 西垣悦子

新緑の美しい季節、金曜日の昼下がり、まーぶるさんの明るいうらびで朋昌はテレビを観たり、音楽を聴いたり他にも入浴や周辺の散歩など和やかにゆったりと過ごさせていただいています。

1 週間、レスピラール花の駅さんに火、水。重心通園施設くぬぎさんに月、木、金通所させていただいてます、金曜日のくぬぎさんの帰りにまーぶるさんに送ってもらい、夜までみてもらっています。

私にとっても唯一のうれしいリフレッシュ曜日です。

友人と会ったり、両親の様子を見に行ったりと有意義に過ごさせてもらってありがたいです。サービスの内容は、本当は在宅支援の重度訪問介護ですが、以前利用していた事業所 暖さんが家庭の事情を行政に相談してくださり、自宅ではなく、事業所での日中の介護と宿泊も福祉事務所と本庁から許可をいただきました。その続きで行政の了解をいただき毎週金曜日と月一回週末の宿泊と、用事のあるとき不定期でいずれもまーぶるさんを利用しています。

出産時のトラブルで重い障害を残しましたが、精一杯生きようとする朋昌の笑顔に支えられてこれまでやってこれました。家族の絆を強め命の尊さを教える大切な役割も果たしてくれています。

この 25 年呼吸状態が大変で常に排痰に神経を使い、吸引が多くなかなか目が離せません。夜間には酸素を流し、人工呼吸器が必要です。食事は胃ろうからの注入です。逆流による誤嚥性肺炎を繰り返したので 3 年前に胃ろう手術に踏み切りました。いろいろケアが難しい朋昌ですが、すべての医療的ケアを福富さんがなれてくださっているので安心してお任せしています。

福富さんはじめスタッフの方々、“困ったときのまーぶるさん頼み”でこれからも頼りにしておりますので、ご支援よろしく願いいたします。

### 編集後記

まーぶる通信編集担当の高田です。まーぶる通信も今回で2号目を発行ができてとてもうれしく思っています。今後モタムリーな通信が発行できるようがんばっていきますので、なにが情報やネタがありましたら、ご提供よろしく願いいたします。